



風っ子・環境キャンペーン



ハンドルを手で回して進むトロッコを楽しむ来場者。バッテリーや燃料の心配なく、レールの上を走ります

桐生市

多彩な取り組みで地球を 考える環境イベント

アースデイin桐生実行委員会

「アースデイin桐生」は、群馬大学桐生キャンパス（天神町）で、毎年4月下旬に開

かれる環境イベント。子どもたちが、安心して持続可能な未来を迎えられることを目的

として2006年に始まりま

した。参加団体は85、来場者

は年々増えておおよそ5000

人にも上ったそうです。

特徴は、産業界（民間企業）、

学校（教育や研究機関）、官公

庁（国や地方自治体）、民間（地

域住民やNPO）と異なる4

つの団体がバランスよく参加

していること。体験型のイベ

ント、環境に配慮した製品の

販売、高校生や大学生による

環境問題の研究紹介や実験な

どバラエティーに富んだ内容

で、さまざまな角度から環境

に触れられます。

「今年の目玉は、SDGsを

意識した仕掛け」と話すのは、

実行委員長を務める群馬大学

名誉教授の根津紀久雄さん。

SDGsとは、人間がずっと

地球に住み続けられるために

作った17の目標で、2015

年の国連サミットで決まった

ものです。今回初めてSDG

sのスタンプリーも企画。

多くの子どもたちが、台紙を

手に楽しみながらSDGsの

理解を深めていました。

「毎年来ています」と言う

風っ子・環境キャンペーンを応援します



いろいろな発電にチャレンジ。電気を起こすのはなかなか大変

湯浅雄介さん（みどり・笠懸小6年）と、永井康太郎さん（桐生・東小6年）。今年も友だちの上井大瑚さん（桐生・南小6年）を誘って来場しました。カブトムシの幼虫を見ながら「昆虫がすむ環境を守らないといけないと思った」と話していました。

興味のあることを入り口に、環境への意識がますます高まります。

アースデイin桐生実行委員会

根津紀久雄実行委員長
桐生市天神町1-5-1 群馬大学理工学部内
TEL:070-6521-6950
<http://www.tech.gunma-u.ac.jp/KogakuClub/EarthDayInKiryu/index.html>

NPO法人 北関東産官学研究会（根津紀久雄会長）の全面支援を受けて開催しています。



いろいろなブースがあって楽しそうだなあ

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」許諾第30-111002号

身近にできるエコ活動

廃食用油で発電ができます

使い終わった食用油で発電できることを知っていますか。廃食用油が1kgで約3kWhの電気が発電できます。この電気の量は、一般的な1,200Wのドライヤーであれば2時間30分使うことができるものです。廃食用油を廃棄する場合は可燃ごみ扱いですが、最近ではごみステーションや公民館などで発電用として回収している市町村もあります。エネルギーの有効利用と地産地消のためにも、使い終わった油の回収に協力してみませんか。

群馬県環境アドバイザー 富岡賢洋